

# としよかん宇治

No. 2

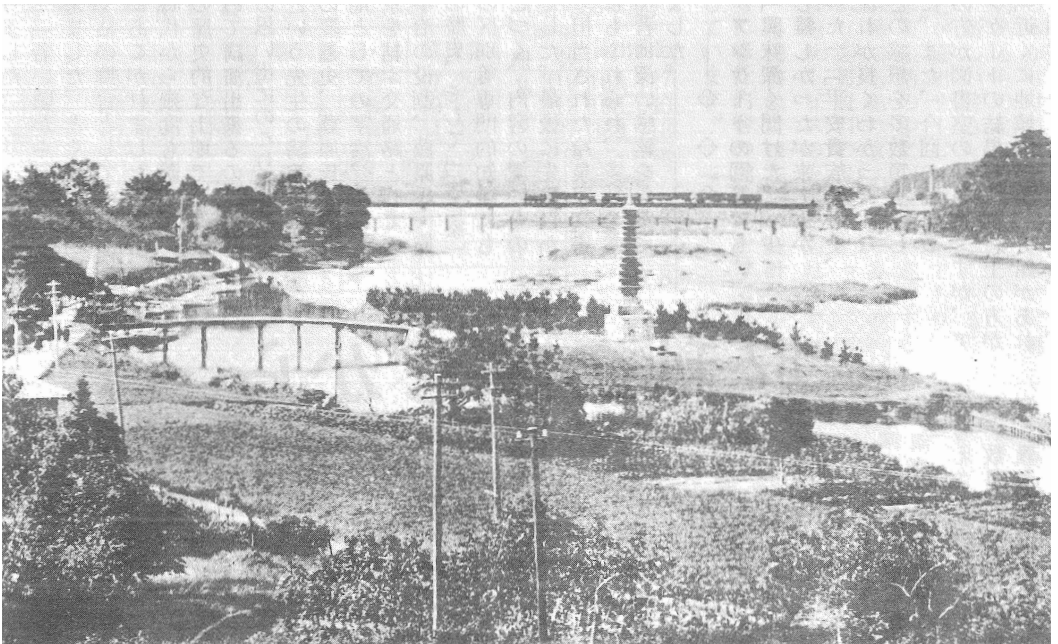
(発行日)

83.2.1

宇治市民図書室

〒611宇治市宇治里尻71-9

電話 (21) 4049



市民図書室蔵書「京都茶業寫真総覧」から宇治川全景  
京都府茶業組合聯合會議所発行（大正13年刊）より

## 少年時代の想ひ

露のとうが早や春の訪れを知らせる  
かのように頭を持ちあげ、早春の足音  
が、もうそこに聞えてくるような気配  
を感じます。

「としよかん宇治」第2号の発刊に  
あたり、この宇治川の写真を眺めてい  
ますと少年時代のことを思い出します  
当時、宇治川を渡るには宇治橋が観  
月橋に出なければならず、現在の隠元  
橋の附近で、春になると岸辺の雑草を  
かきわけ、水辺に出て、釣糸を垂れ、  
夏には水泳を楽しみ、対岸（東目川附  
近）を眺めながら、一度行ってみたい  
と何度思ったことかわかりません。  
丁度、5年生の梅雨の頃、増水し、流  
れの早い川辺に立って、友達と2人向  
岸へ渡ってみようかということになり  
ましたが、なにしろ2人ともこんなに  
増水し、流れの早い川を泳いで渡るこ  
とは初めてであり、心の中では少々恐  
い気持もありましたが、それはお互い  
に現わせません。しかし、濁流に飛び  
込み、抜き手を切って、向岸に辿りつ  
き、水面から僅かに見える雑草を手  
にした時の感激……。38年を経た今も忘  
れられませんが、生涯、忘れられない  
でしょう。

昔の宇治川の風景写真に接して、少  
年時代の想い出の一端を述べさせてい  
ただきました。

館長 竹中 宏



《記念講演会》

藤原文化と宇治

秋の読書週間は「読書はあなたの無限の宇宙」をテーマに、十月二十七日〜十一月九日まで行われました。市民図書室では、読書週間記念行事として十月二十七日水に記念講演会を催しました。今回は平安博物館々長の角田文衛氏をお招きし、「藤原文化と宇治」のテーマでお話ししていただきました。著名な先生でもあり、宇治の

歴史とあつて二百人余の参加がありました。

「若い頃から何回も宇治の町にきました。とくに源氏物語の宇治

十帖の舞台としての宇治にあこがれました。学生時代から幾度も遊んだこの歴史的な土地で、はじめて講演出来るのは生涯の思い出にのこります。

という先生の公演は、都の変遷史、藤原氏の別荘地としての宇治、南都と京を結ぶ交通路としての宇治の役割、藤原氏一族の歴史、そして「氏と家」の区別等専門的知識にもとづく、内容の濃いものでした。最後に先生自から担当された冷泉家文書にもふれられ、多数の参加者に深い感銘をあたえました。

――◇――  
アンケートの回答でも

「興味深く聞けた」「少し難しかったが来てよかった」「平安貴族の歴史、流れが良くわかった」などの感想を多数頂きました。また、今回の約半数

の方が図書室の利用者ですが、アンケートの結果、八割以上の方が「近くに地域図書館、分館があれば利用する」と答えておられます。

'82 秋の催しから

子どもの本

連続講座

子どもとすぐれた本の出会いを求めて、四回の講座に計一七八名の参加がありました。受講された方は、子どもに適書を与える難しさと大切さを痛感され、図書室の有効利用を再認識されたようです。また「もつと近くに図書館があれば」という感想も寄せられました。

絵本とのであい

連続講座を受講して

後藤 礼子

子どもをつれて、図書室へ通いはじめたのは、もう五年ほど前のことです。それから、絵本との出会いが始まり、忘れていた本のが急に懐しく思われ、すっかり虜になつてしまいました。

あれこれと本を手にとり、今日はどれにしようかと子供と選ぶのは、楽しくもあり、ずいぶん迷い考えさせられることもありました。数多い中でも、本当に味わい深く豊かな本に出会うことは非常に難しく、そんな中で、わくわく

する素敵な楽しさに出会うと、何ともいえないくらい嬉しくなったものです。そんな、得難い出会いに魅せられ図書室通いは続きました。息子が五歳の誕生日、自分で選んだ初めての本は「じごくのそうべえ」でした。本屋さんで、どうしても買って欲しいと言われた時ドキッとしたのは、私の思っていた絵本のイメージとは、ほど遠いものでした。そうしたこともあり、子供にとつてどんな本が良いのだろうかと考えていたのが受講のきっかけでした。

受講して思ったのは、ずいぶんと知らない本があるのだなあとということでした。内容については、四回に亘り、少し幅広く内容が浅かったのが残念でした。それでも新しい分野の取り組みもあり、とても参考になりました。こんな講座をもっと多く開講していただきたく、次回を楽しみにしています。最後になりましたが、保育をしていただいた職員の方に厚く御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

《連続講座のテーマ》

1. 絵本のえらび方とすすめたい絵本 (10/1)
2. よみかせの大切さと上手なやり方 (10/12)
3. 児童よみものを選び方とすすめ方 (10/26)
4. 科学よみものをよもう (11/8)



# 市民の

## なかの

### 図書館へ



#### 図書館奉仕 ①

市民図書館が開設されて18年目、昭和59年秋には中央図書館が完成の予定です。今回からシリーズで図書館について紹介し、共に考えてみたいと思います。

#### ・あなたの図書館イメージは？

情報化社会の今日、膨大な情報出版物が溢れ、仕事や生活に必要な知識を得るために図書館の果たす役割はますます大きくなるでしょう。

図書館サービスの基本は貸出にあります。開架式で本は自由に手に取って見られ、貸出の手続も簡単に誰もが気軽に利用できるようにしています。また、移動図書館の巡回等、身近かな所で本が利用できる体制もとっています。

貸出中心の図書館奉仕は古いイメージの図書館を一掃し、市民の身近かな図書館として支持され、今日の公共図書館発展の基礎をつくりました。

### 図書館利用統計

(昭和56年度)

	人口	図書館面積	職員数	B・M	蔵書数	年間増数	貸出冊数
宇治市	155,791	165㎡	6	有	47,299	6,319	163,727
城陽市	76,577	232	4	無	49,609	15,112	198,040
八幡市	67,926	1,798	14	有	54,323	12,137	339,718

	市民1人当り貸出冊数	登録者数	登録率	図書回転率	市民1人当り年間増加冊数	市民1人当り蔵書数
宇治市	1.1	6,444人 1,899世帯	8.2	3.5	0.04	0.3
城陽市	2.6	14,665人	19.4	4.0	0.19	0.6
八幡市	5.0	18,014人	26.5	6.3	0.17	0.8

城陽市…昭和56年度、2分館開設  
(京都府南部図書館統計資料より抜粋)

しかし、本が古く、また希望する本がなければ市民にとって魅力あるものとなりません。新しい読みたい本が多くあることが貸出サービスの基本であり、市民生活の中に図書館が定着する保障でもあります。より多くの新鮮な図書資料の提供によって、図書館サービスの充実が図れます。各図書館では左記の統計等を参考に奉仕内容の向上にむけて努力しています。

## 本のある遊び場

### 児童文庫の活動

#### ●南陵こども文庫

昭和五十三年一月に子ども会活動の一つとして、テレビばかり見ないで、良い本を多く読んでほしい。子ども達の縦横のつながりができたという願いのもとに南陵町集会所に於て、毎週土曜日、午後二時より四時まで開くことになりました。

その後、管理運営のための世話が、資金、貸出、返却の仕



事は子ども会の援助で年々活発になっていきます。

蔵書数、約千二百冊(児童書)

その他、市民図書館、社会福祉協議会等からの借用三百冊

利用は南陵町住民どなたでもできますが、現在、登録者は三百六十名。一日の貸出冊数約四百冊

利用者約七十名前後。年令別に見ますと学令前の幼児が半数を占め

高学年向きの本もかなり備わっているのですが、学年が進むに従って

利用人数は減っています。

行事としては、毎回世話役が読み聞かせ、紙芝居等行なっています。(図書室主催の講演会、講習会で勉強しながら)その他、年に二、三回季節行事。今年度は特に

同じ集会所利用者の喜老会の方々との交流を深めるため、七夕祭ではこよりや折紙を作って貰い、秋の影絵遊びの時にはお話や歌を唄って一緒に楽しみました。新年おたのしみ会には百人一首や十一月から準備した子ども手づくりのカルタやすごろくをしました。

文庫だよりも年三、四回、購入図書、子ども達の感想文、お知らせ等載せ発行しています。

場所が狭く、落着いて読めない高学年の利用者をどのようにして増やすか。子ども達の運営参加など数々の課題が残されていますが一人でも多く利用してもらいたい

ものです。 代表者 金川明子

# 図書室 ごあんない

- 開室時間 午前9時～午後5時
  - 休室日 毎週月曜日・毎月末日  
国民の祝日・特別整理日  
(12月28日～翌年1月4日)  
=土曜日もあいています  
日曜日もあいています=
  - 貸出 本の貸出しは1人2冊以内。貸出期間は2週間です。
  - 移動図書館そよかぜ号 本の貸出しは1世帯20冊以内。貸出期間は次の巡回日(約45日)まで。駐車場の場所、日時は毎月1日号、市政だより「そよかぜ号巡回日程」をご覧ください。
- =ご利用はすべて無料です=

宇治市読書クラブ協議会は図書室の協力を得て、昨年四月より「我がまち宇治・宇治川と共に」の歴史学習会を開いています。

私達の町宇治市の歴史を縦断して流れる宇治川は千年の歴史を秘めて、今もなお水深く流れています。

その宇治川を現在の語りべとして、その源をさかのぼり、川の流れが広がる様に私達、それぞれの地域の歴史と文化を探っていきます。

歴史史料室の若原先生のはぎれの良い名講義は史実にとづいて、時には地理的に、また、文学的に、そして民話にと、昔の暮らしをひもときながら、宇治市のルーツを探り未来に思いをはせつつ拡がってきます。

現在、七十名以上の人達が学習仲間として親交を深めています。その中で山あいの志津川や白川

## 歴史学習会

### 「我がまち宇治・宇治川と共に」

を初めて訪ずれた人々も多く、現地の区長さんや古老の方達のお話も聞きながら、自然の良さと歴史の深さを今更に感じ合いました。

いよいよ学習会も一年になりました。流れにのり、各地域を総論的に学習を進めてきましたが、そのまともにも本年はそれぞれ専門的な学習コースに発展継続していきたいと計画を進めています。

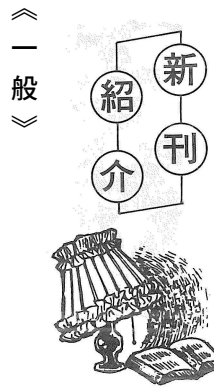
宇治市民お互いに我が町宇治を知り、心の通いあう「ふるさとづくり」が共に行けることを願っています。今からでも参加なさいませんか。お待ちしております。

代表 前川 桂子

今後の学習日程(午前十時より)

二月 九日	木幡の里
二十三日	六地藏・伏見
三月 九日	巨椋池の畔
二十三日	淀の川瀬

(於) 宇治市公民館



### 《一般》 北京の八〇〇日

越石建夫／彩流社

西側初の写真記者常駐特派員として一九七九年九月から、八一年十一月までの八百日を日記と写真で紹介しています。女性のフアッシュョン、交通事情、休日の娯楽など新聞やテレビ等で知ることの出来にくい庶民の暮らしを中心に、豊富な写真で知ることが出来ます。日中正常化十周年を迎えた今日「近代化」をめざす素顔の隣国、中国を知る好著といえるでしょう。

### 漢字の常識

原田種成／三省堂

この本は、漢字の書取などで、はねるかはねないか、長いか短いかをことさらに厳しく採点する教育を憂う著者が、さまざまな例を掲げながら、望ましい漢字教育についてわかりやすく記しています。毎日接しているながら、成立ちや読み方を知る事思わぬ発見ができる、楽しく味わえる漢字の本です。

### 《児童》

#### くんちゃんのもりのキャンプ

ドロシー・マリノ作  
まさきるりこ訳 ベンギン社

子グマのくんちゃんはいとこのアレックとキャンブに出かけます。途中、コマドリに巣の作り方を、アヒルに泳ぎ方を、カワセミには魚のとおり方を教えてもらうのですが、黒のペン画に緑で彩色しただけの地味な絵ですが、くんちゃん的好奇心とやさしさが伝わってくるほほえましい絵本です。

#### なぞなぞの本

福音館編集部編／福音館

いくつになっても、なぞなぞは面白いものです。この本には、日本をはじめ世界のなぞなぞが五百以上集められています。昔話や詩を題材にしたものもあり、なぞなぞを通して、各国の生活や風土、考え方などもうかがえる楽しい一冊です。(小学校中級)

#### II 編集後記 II

第二号の館報いかがでしたか？ みなさん、今回図書室に投書ボストを置きましたので、館報に関する御意見や作品など、どしどしお寄せ下さい。もう少し寒い日が続きますが、体にはくれぐれも気をつけて下さいね。